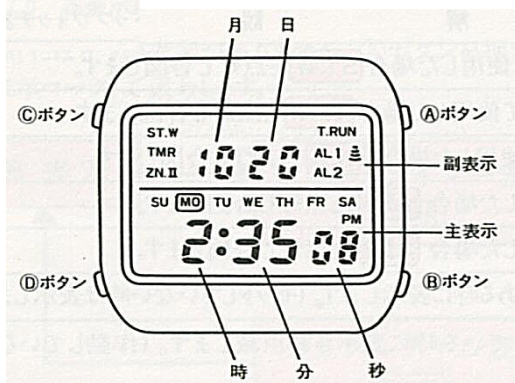


取扱説明書 840型系 完成品

[1] 仕様

[2] 外観と時刻合せ概略案内



※左記の図は、通常表示
(時刻、カレンダー)を
示します。

●この時計には、6つの代表する表示である通常表示(時刻、カレンダー)、リピートタイマー(くり返し減算タイマー)表示、アラーム1表示、アラーム2表示、デュアルタイム(別時計)表示、ストップウォッチ表示があります。
各表示は ☐ (表示マーク)で囲み表示します。また、曜日を表わす場合も ☐ (表示マーク)で囲みます。例: ☐ ST.W ……ストップウォッチ表示、☐ MO ……月曜日

3

特徴

1. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—カレンダー(月・日)の同時表示
2. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—デュアルタイム(時・分)の同時表示
3. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—アラーム1セット時刻(時・分)の同時表示
4. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—アラーム2セット時刻(時・分)の同時表示
5. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—くり返し減算タイマー(リピートタイマー)
[残り時間30分以上…時・分、30分未満…分・秒]の同時表示
6. ストップウォッチ機能(最大30時間)
1/100秒計測、LAP(途中経過時間)計測、1・2位同時計測、主表示(時・分・秒)、
副表示(1/100秒、ラップマーク)
7. 全時計 12時間制(午前AM、午後PM表示)、24時間制の切替え
8. オートカレンダー(2月は28日制、うるう年のみ修正)
9. 30秒振り分けリセット
10. サウンドシグナル
ストップウォッチ操作時にスイッチボタンを押すと、ピーと確認音が鳴ります。
11. 内部照明ランプ付

特徴

1. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—カレンダー(月・日)の同時表示
2. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—デュアルタイム(時・分)の同時表示
3. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—アラーム1セット時刻(時・分)の同時表示
4. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—アラーム2セット時刻(時・分)の同時表示
5. 主表示—基本時計(時・分・秒・曜)、副表示—くり返し減算タイマー(リピートタイマー)
[残り時間30分以上…時・分、30分未満…分・秒]の同時表示
6. ストップウォッチ機能(最大30時間)
 $\frac{1}{100}$ 秒計測、LAP(途中経過時間)計測、1・2位同時計測、主表示(時・分・秒)、
副表示($\frac{1}{100}$ 秒、ラップマーク)
7. 全時計 12時間制(午前AM、午後PM表示)、24時間制の切替え
8. オートカレンダー(2月は28日制、うるう年のみ修正)
9. 30秒振り分けリセット
10. サウンドシグナル
ストップウォッチ操作時にスイッチボタンを押すと、ピーと確認音が鳴ります。
11. 内部照明ランプ付

2

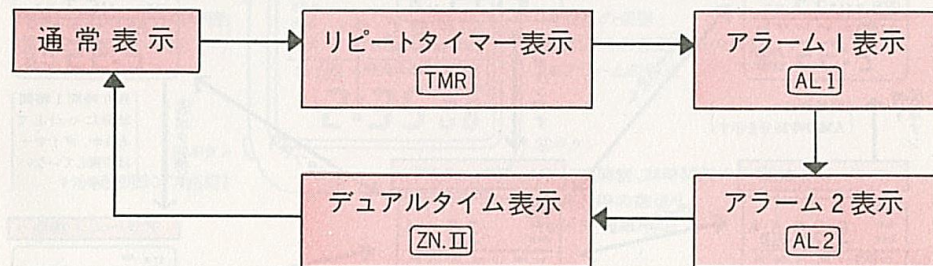
表 示	解 説
ST. W	ストップウォッチ表示として使用した場合 ST.W と点灯し合図します。
TMR	リピートタイマー表示として使用した場合 TMR と点灯し合図します。
ZN. II	デュアルタイム表示として使用した場合 ZN.II と点灯し合図します。
AL 1	アラーム1表示として使用した場合 AL1 と点灯し合図します。
AL 2	アラーム2表示として使用した場合 AL2 と点灯し合図します。
	アラーム時刻がセットしてある時に表示します。(セットしていない時は表示しません)
T. RUN	リピートタイマーが作動している時に表示され点滅します。(作動していない時は表示しません)
SU.MO.TU.WE. TH.FR.SA	曜日を示します。[(表示マーク) で囲み表わします]
AM, PM	午前 (AM) 午後 (PM) を表わします。(12時間制のとき表示します)

※なお、通常表示の時は (表示マーク) は表示しません。

4

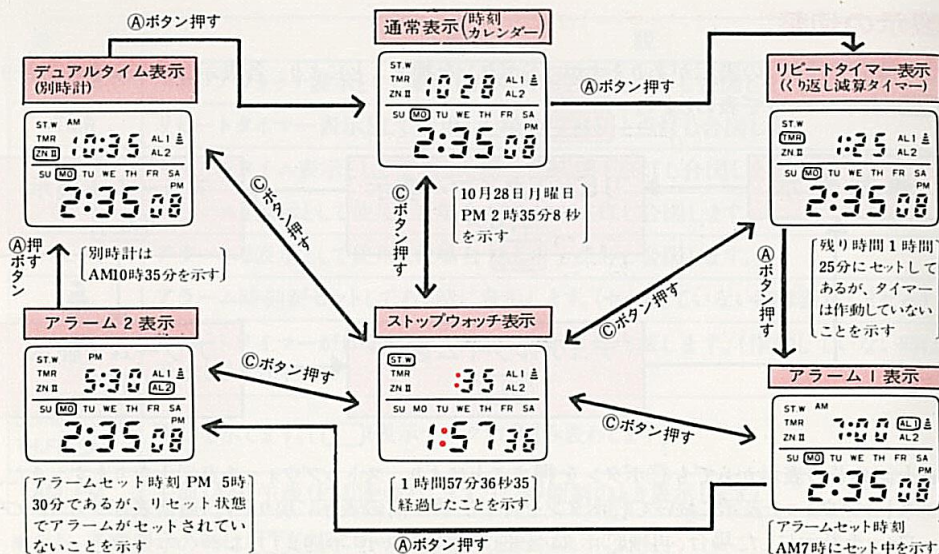
表示の切替

この時計には6つの表示がありますが、**A**ボタンを押すことにより、各表示は次のように切替り (表示マーク) で表わします。



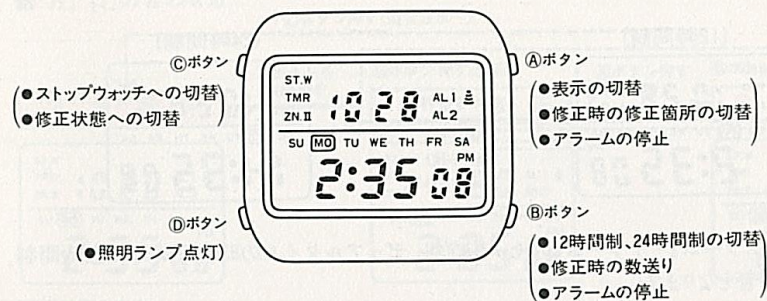
- 上記のどの表示からでも **C**ボタンを押すことにより、ストップウォッチ表示となります。また、ストップウォッチ表示において **C**ボタンを押すと、押す前の表示に戻ります。(通常表示からストップウォッチ表示にした場合、再度 **C**ボタンを押すと通常表示に戻ります)

5



5

通常表示(時刻、カレンダー)の取扱い方法



[10月28日 月曜日、午後2時35分8秒 アラーム1セット中]

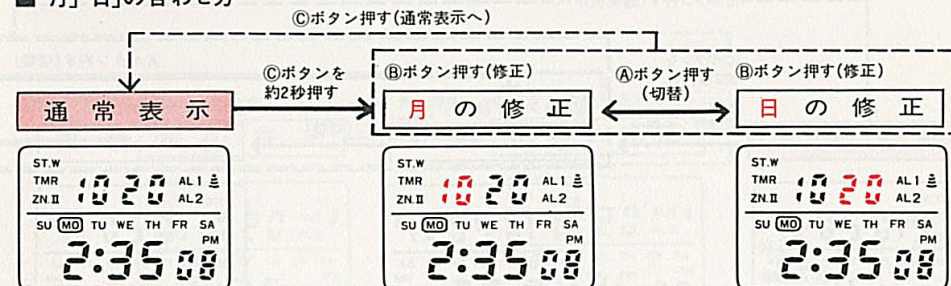
●曜日は英文字を□(表示マーク)で囲みます。

SU(日曜日)、MO(月曜日)、TU(火曜日)、WE(水曜日)、TH(木曜日)、FR(金曜日)、SA(土曜日)

7

時刻・カレンダーの合わせ方

■「月」「日」の合わせ方



(修正状態にする)

通常表示から(C)ボタンを約2秒押してください。

「月」の箇所が点滅し、修正可能状態になります。

「月」の箇所が点滅

(B)ボタンを押して修正

「日」の箇所が点滅

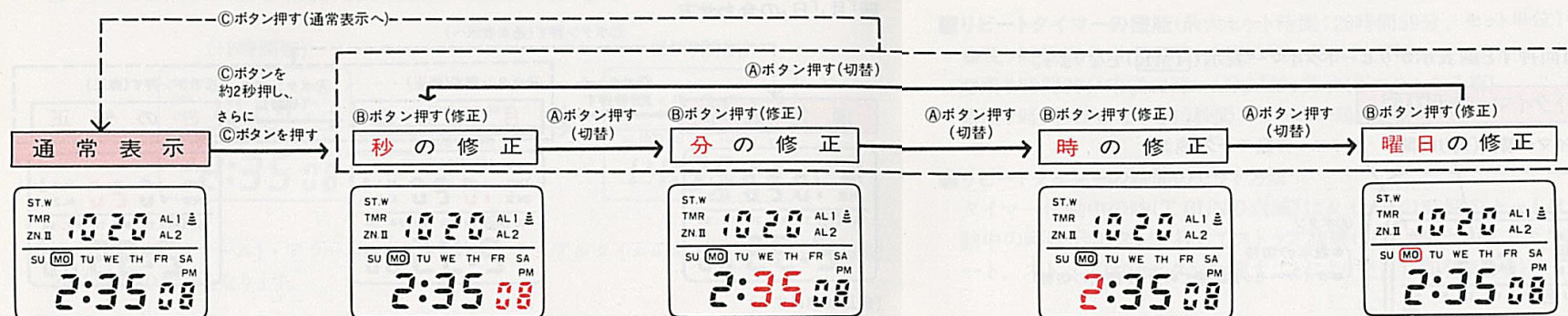
(B)ボタンを押して修正

●(B)ボタンで修正する時、1回押すごとに修正箇所の数が1つつ増えます。また、(B)ボタンを押しつづけると早送りが行えます。

※「月」「日」の修正後(C)ボタンを押すと通常表示へ戻ります。(「月」「日」の修正をしないで再度(C)ボタンを押すと「秒」の修正状態になります。)

9

■「時」「分」「秒」「曜日」の合わせ方



(修正状態にする)

通常表示の時、(C)ボタンを約2秒押し「月」の箇所が点滅。さらに(C)ボタンを押すと、「秒」の箇所が点滅し、修正可能状態になります。

「秒」の箇所が点滅します。時報と同時に(B)ボタンを押すと0秒となります。この場合、秒が0～29秒の時は0秒に、30～59秒の時は1分進んで0秒からスタートします。(30秒振り分けリセット)

「分」の箇所が点滅
(B)ボタンを押して修正

「時」の箇所が点滅
(B)ボタンを押して修正
AM(午前) PM(午後)
をまちがえないように
合わせてください。

「曜日」の箇所が点滅
(B)ボタンを押して修正

※「時」「分」「秒」「曜日」の修正後、(C)ボタンを押すと通常表示へ戻ります。

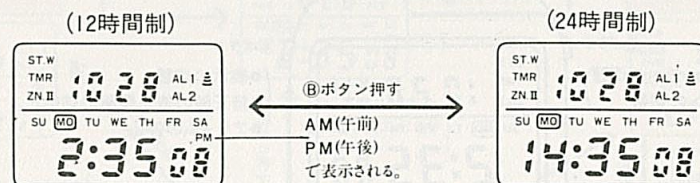
●(B)ボタンで修正する時、1回押すごとに修正箇所の数が1つつ増えます。また、(B)ボタンを押しつづけると早送りが行えます。

10

11

■12時間制と24時間制の切替

⑧ボタンを押すごとに、12時間制と24時間制が交互に切替ります。



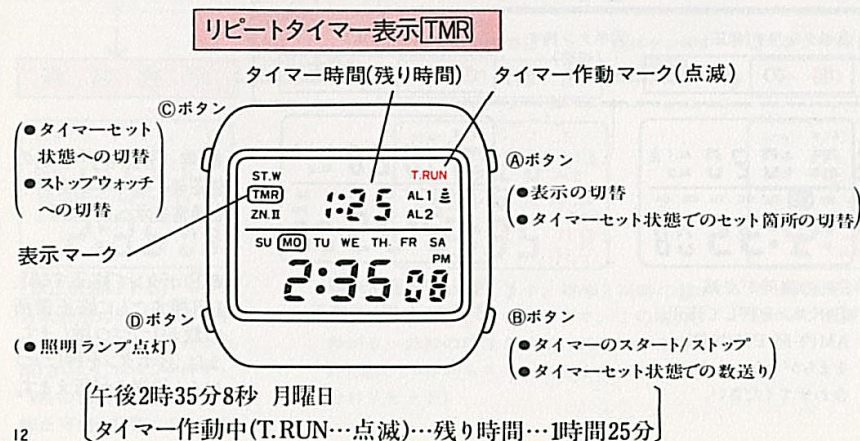
※この切替は、アラーム1・アラーム2のセット時刻、デュアルタイムの時刻も同時に12時間制、24時間制の切替となります。

■アラームを途中で止めたい時

時刻がアラームセット時刻になった時、リピートタイマーの残り時間が0秒になった時アラームが鳴り出しますが、途中で止めたい時は⑨または⑩ボタンを押してください。(この場合、⑨または⑩ボタンを押してもアラームを止めるのが優先しますので、表示の切替、12時間制・24時間制の切替にはなりません)

リピートタイマー(くり返し減算タイマー)の見方と操作方法

通常表示から⑨ボタンを1回押すと副表示がリピートタイマー表示(TMR)となります。

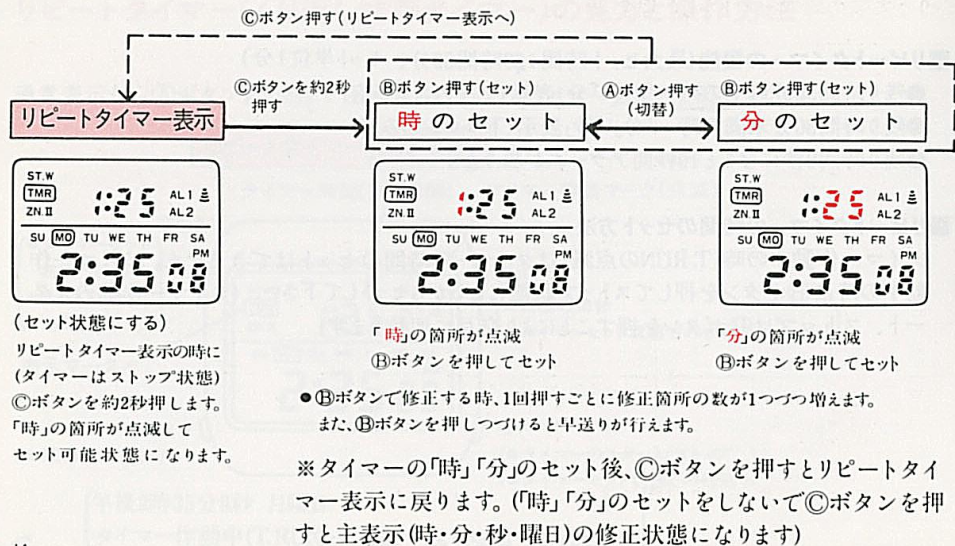


■リピートタイマーの機能(最大セット時間:29時間59分、セット単位1分)

- 残り時間30分以上の時...「時」:「分」表示(上下のコロン有)
- 残り時間30分未満の時...「分」:「秒」表示(下コロンのみ有)
- 残り時間0秒になると10秒間アラームが鳴ります

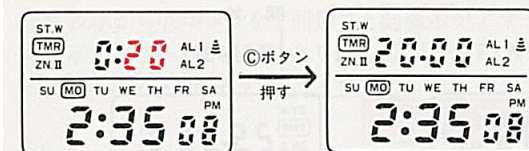
■リピートタイマーの時間のセット方法

タイマー作動中の時(T.RUNの点滅)はタイマーの時間のセットはできません。タイマー作動中の時は⑩ボタンを押してストップ状態にしてからセットして下さい。(タイマー作動のスタート、ストップは⑩ボタンを押すことにより交互に切替ります)



14

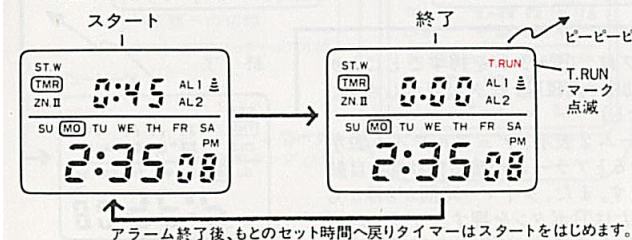
■30分未満の時間セットをした場合(例:20分に時間セット)



①・② ボタンを操作し20分(0:20)に時間をセットして、
③ボタンを押してリピートタイマー表示と表示部は「分」「秒」表示の2:35.00となります。

■リピートタイマーの使用方法

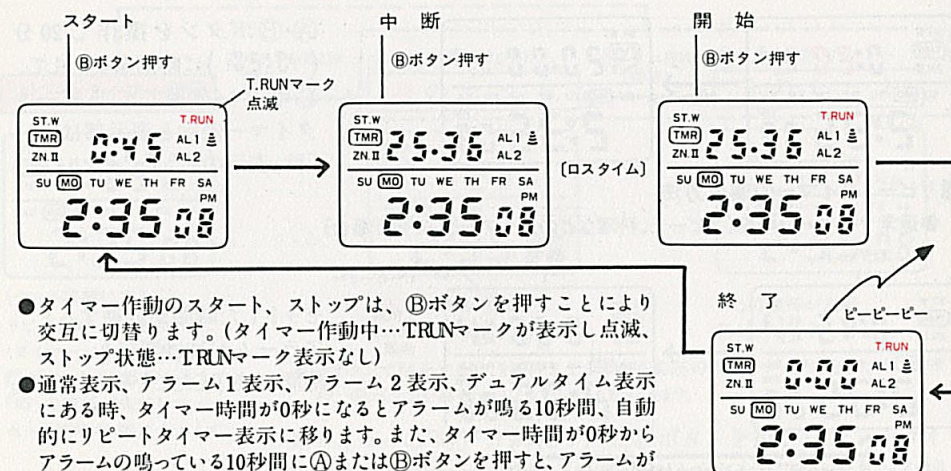
- 通常タイマーの場合(スピーチ、料理などのタイマーとして使う場合)



セットした時間が経過するとアラームが10秒間鳴り、時間が終了したことを知らせます。

15

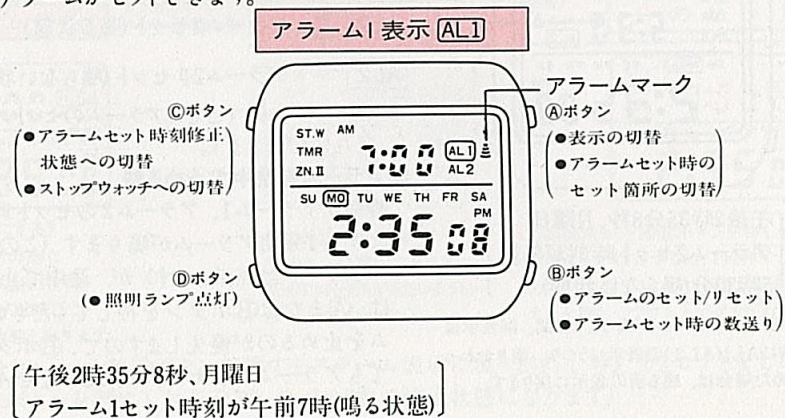
●ロスタイムを除いてカウントする場合(サッカー、バスケットなど)



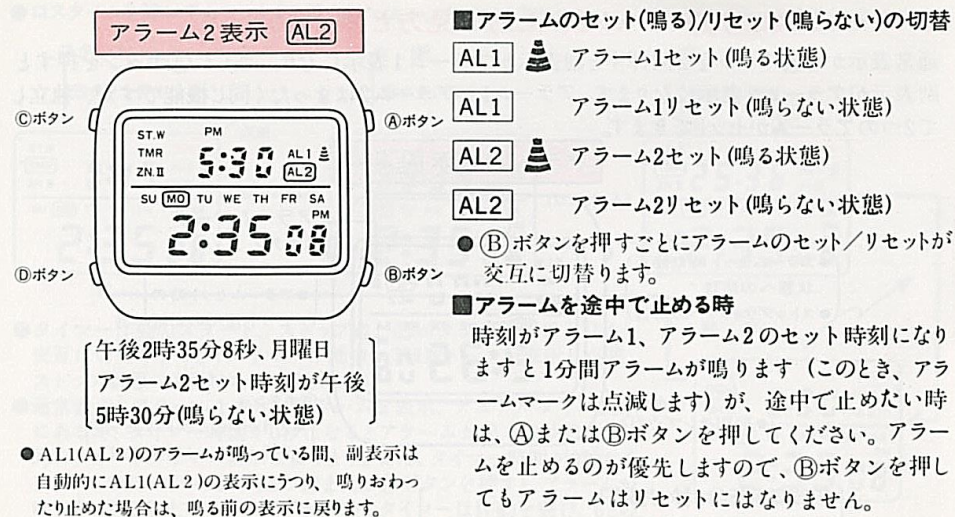
16

アラーム1(AL1)、アラーム2(AL2)の見方と操作方法

通常表示から(A)ボタンを2回押すと副表示がアラーム1表示になり、さらに(A)ボタンを押すと副表示がアラーム2表示になります。アラーム1、アラーム2はまったく同じ機能ですが、独立して2つのアラームがセットできます。

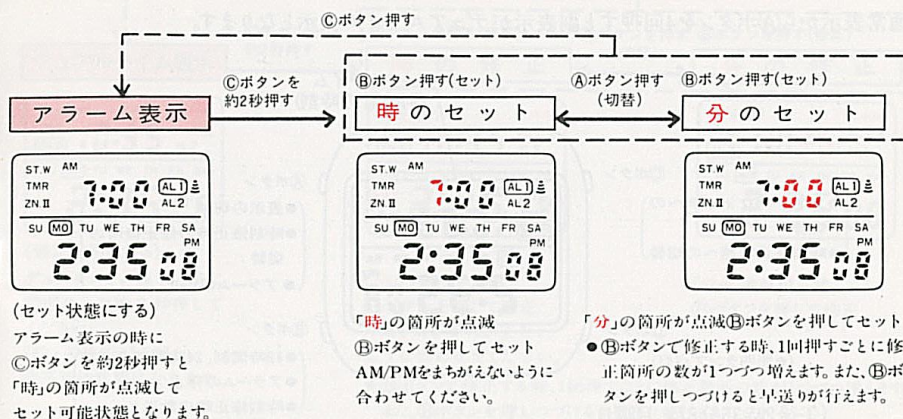


17



18

■アラームセット時刻のセット方法(アラーム1で示しますがアラーム2も同じです)

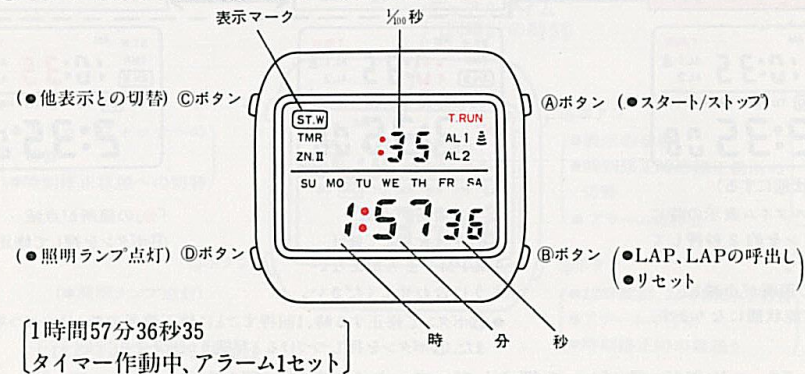


※「時」「分」のセット後(C)ボタンを押すとアラーム表示に戻ります。〔「時」「分」セットをしないで再度(C)ボタンを押すと主表示(時・分・秒・曜)の修正状態になります〕

19

ストップウォッチ(ST.W)の見方と操作方法

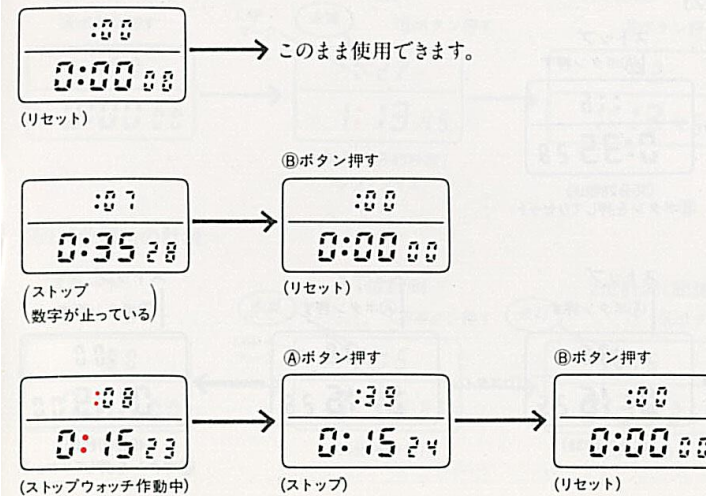
各表示から◎ボタンを押すとストップウォッチ表示になります。(ストップウォッチ表示において◎ボタンを押すと押す前の表示に戻ります)



●サウンドシグナルにより、(A)、(B)、(C)ボタンを操作するとピーと確認音が鳴ります。

22

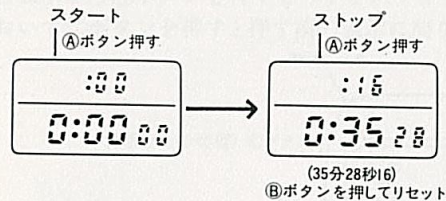
●ストップウォッチとして使用する時は、リセット状態にしてからスタートしてください。



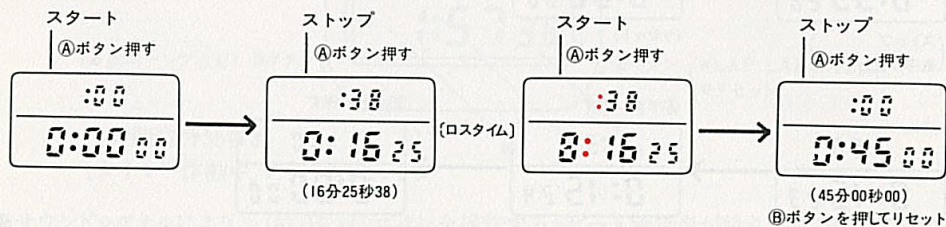
23

■ストップウォッチの使用法

①単純計測(スタート、ストップ)

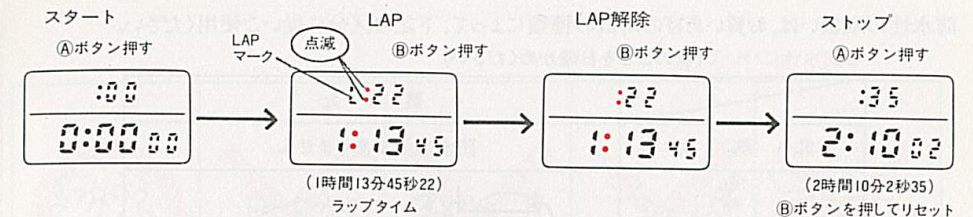


②累積計時

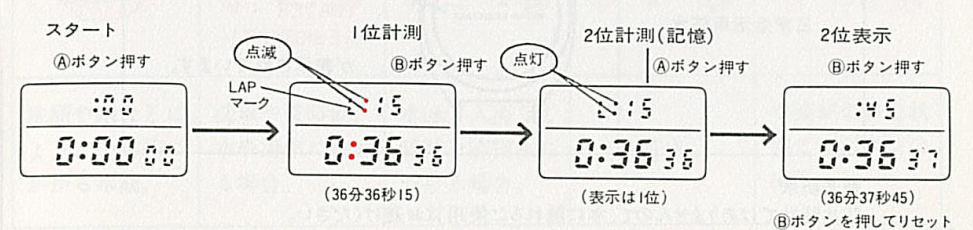


24

③LAP(途中経過時間)の計測



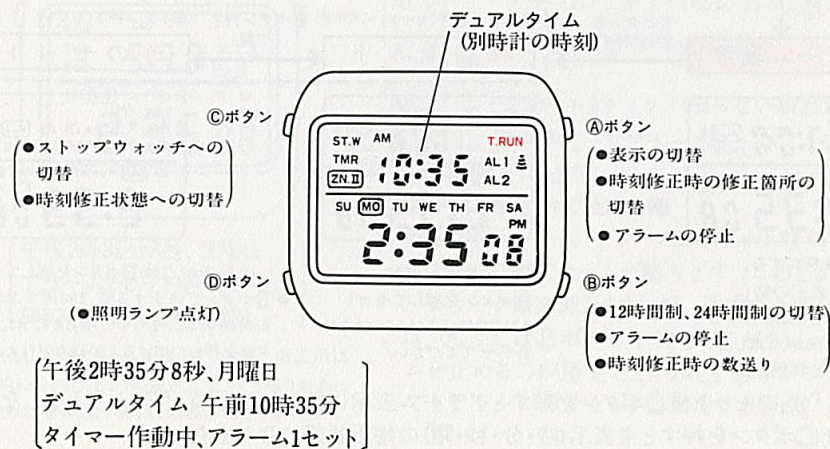
④1、2位同時の計測



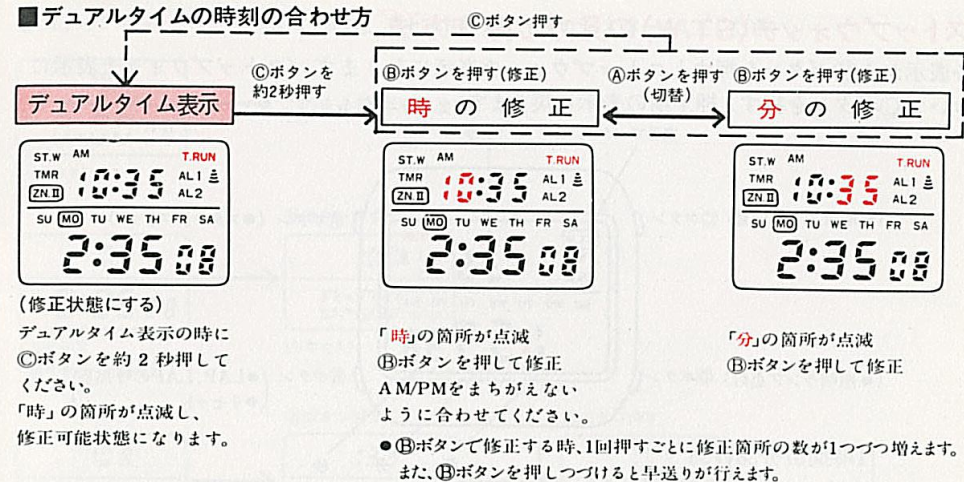
25

デュアルタイム(ZN.II)の見方と操作方法

通常表示から④ボタンを4回押すと副表示がデュアルタイム表示となります。



■デュアルタイムの時刻の合わせ方



※「時」「分」の修正後、④ボタンを押すとデュアルタイム表示に戻ります。
[修正しないで④ボタンを押すと主表示(時・分・秒・曜)の修正状態になります]